

合宿の様子（講評）

新チームになってまもない中学生8チーム、小学生2チームの約150名の選手・監督・コーチが2019年大分県ソフトボール協会「OITA SOFTBALL DREAM PROJECT」小中学生夏季強化合宿（以下、湯布院合宿）に参加した。各チームにおいて新体制での活動をする中、大分県ソフトボール協会（以下、県協会）主催として2回目の湯布院合宿を開催した。今年は昨年度より2つの点を進化させた。一つは、小学生への指導、少年団の指導者への指導技術の提供の場として小学生の参加をよびかけた。2つめは、（公財）日本ソフトボール協会強化本部に在籍し、GEMプロジェクトのリーダーとしてご活躍された渡辺祐司講師を招聘し、大分県の小中学生ソフトボール選手の意識改革ならびに、指導者の指導技術の向上を目的に、選手・指導者共に指導・助言をしていただいた。特に渡辺祐司講師は、大分県の指導者の指導現場を見ていただき、対象に応じた言葉かけや、指導のポイントなど助言していただくとともに、昼夜の研修では「心のソフトボール」というテーマで、小中学生・保護者にソフトボールを通じての人格形成はもとより、夢の達成に向けて情熱のこもった講義をしていただいた。昨年よりもパワーアップした合宿を実施することができ、選手だけでなく、指導者にも実りのある充実した合宿であった。県協会としては、県協会主催の冬合宿の実施も視野に入れ、大分県ソフトボール競技のジュニア層の技術力向上を目指していく。